

プランクトン調査結果のお知らせ

平成26年5月26日、野見・須崎湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

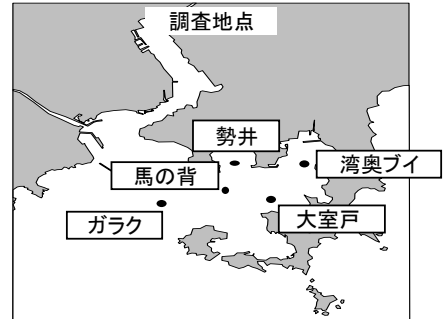
検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で30,500cells/ml、ケラチウム・フルカが最高で20cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で3cells/ml、カレニア・パピリオナセアが最高で6cells/ml確認されました。ヘテロシグマについては漁業被害が想定される細胞密度を超えた状態が継続しています。

また、天候が回復すると赤潮原因プランクトンが現状より増加する可能性もあります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 プランクトン(cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	ケラチウム・フルカ	カレニア・ミキモトイ	カレニア・パピリオナセア
湾奥ブイ	0m	6,000	12	0	3
	2m	3,850	5	0	2
	5m	1,400	20	1	0
大室戸	0m	1,270	14	1	1
	2m	710	10	0	1
	5m	360	2	3	0
馬の背	0m	1,330	17	1	6
	2m	840	10	3	1
	5m	360	5	2	1
勢井	0m	4,550	11	1	2
	2m	4,350	13	2	0
	5m	540	16	1	1
ガラク	0m	230	0	2	2
	2m	520	1	3	0
	5m	130	0	3	0
大谷漁港前	0m	30,500	1	0	3



- 漁業被害が想定される細胞密度**
- ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
 - ケラチウム・フルカ:
100cells/ml(餌食いの悪化)
 - カレニア・ミキモトイ(へい死)
数百~数千cells/ml
 - カレニア・パピリオナセア: 赤潮発生時(へい死)

「プランクトン調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>